

平成 26 年 3 月 28 日

直鎖状低密度ポリエチレン製造設備の停止について

直鎖状低密度ポリエチレン樹脂を取り巻く事業環境は、中東・アジア地域における
新增設備の本格稼働等により、汎用品を中心とした輸入品が増加し大変厳しい
状況となっております。

日本ポリエチレン株式会社(本社:東京都千代田区、社長:府川 洋一)は、
このような厳しい事業環境に対応するため、合理化施策の一環として鹿島工場の
直鎖状低密度ポリエチレン製造設備1系列の停止を決定しましたのでお知らせ致し
ます。

当社は今後とも、製品の高付加価値化をはじめとする事業体質の強化を図り、
お客様へ優れた材料を安定して御提供できるよう努めてまいります。

記

1. 設備停止の概要

設 備 名 : 直鎖状低密度ポリエチレン製造設備 第2系列
工 場 所 在 地 : 茨城県神栖市東和田
生 産 能 力 : 9.2万トン/年
停 止 時 期 (予 定) : 2015年3月

2. 本設備停止による直鎖状低密度ポリエチレン生産能力の変動

現有生産能力 : 26万トン
本設備停止後 : 16.8万トン

以上

問合せ先 :

日本ポリエチレン株式会社 総務部 TEL : 03-6748-7189